実施計画 市民意見募集

（令和９年度～令和１１年度）

市では、徹底した情報公開による市民協働・市民参加型の行政運営を推進するため、本年度策定する実施計画（令和９年度～令和１１年度）を決定する前の段階で、事業化の是非等についてのご意見を市民の皆さんから募集します。なお、事業の内容、事業費等はあくまでも現時点の検討ベースのものです。

意見の提出方法

指定の様式はありませんので、任意の様式に事業番号・事業名と意見・提言のほか、氏名、住所、電話番号をご記入いただき、次のいずれかの方法により提出してください。

※提出にあたっては、下記の回答フォーム（二次元コード）からご入力いただくと便利です。

●**郵送**　〒385-8501　佐久市中込3056番地　佐久市役所 企画課宛

●**電子メール**　kikaku@city.saku.nagano.jp

●**ファックス**　63-3313

●**持参**　市役所本庁企画課、各支所総務税務係の窓口

※電話および口頭でご意見をいただくことはできません。

●**回答フォーム**

回答フォーム

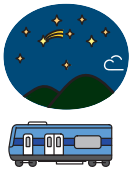
■**意見の募集期間**　８月26日（水）～９月16日（水）

※お寄せいただいたご意見の集計結果・回答などは、広報12月号と市ホームページに掲載します。

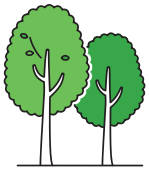
■**問合せ**　企画課　☎62-3067

事業番号	1			
事業名	事業系ごみ処理手数料改定事業	担当課	生活環境課	
事業の内容	事業所からの一般廃棄物については、ごみ処理手数料を徴収し、佐久平クリーンセンターで焼却処分をしていますが、物価高騰による維持管理等の経費の増加や、ごみ袋製造原価の高騰により、処理経費に見合った手数料が徴収できていない状況です。 そこで、事業系ごみ処理手数料について値上げを検討し、焼却施設の維持管理費、ごみ袋製造原価を含めた適正な手数料に改定を行います。 			
事業の効果	ごみ処理手数料の改定により、ごみ処理に関する費用負担の公平性確保を図ります。			
事業年度	令和９年度～令和13年度	総事業費	584,800千円※	（うちR９～11年度） （338,400千円）

※総事業費は、事業系ごみに対する処理経費の当該期間合計であり、本事業はごみ処理経費の高騰に対応したごみ処理手数料の見直しを行うものです。

事業番号	2			
事業名	信州デスティネーションキャンペーン SAKU-TOURISM700（サクツーリズム 700）事業	担当課	観光課	
事業の内容	本市の観光は、充実した高速交通網によるアクセスの良さから、北信濃や軽井沢などの有名観光地への「通過点」になりやすく、滞在時間の短さが課題となっています。 そこで、信州デスティネーションキャンペーンを契機として、「標高700mが育む旅」をテーマに、星空観望ナイトバスツアーなどの夜間・体験型コンテンツを造成し、滞在時間の延長を図ります。また、首都圏等での商談会や観光列車「HIGH RAIL 1375」を活用したPR、広域自治体やJRとの連携による効果的な誘客に取り組みます。 			
事業の効果	夜間・体験型コンテンツの造成により、滞在時間の延長を図ります。また、観光列車等でのPRによる特産品の売上げ増加や、広域連携による新たな客層の誘客、持続的なリピーターの獲得につなげます。			
事業年度	令和９年度～令和10年度	総事業費	10,407千円	（うちR９～11年度） （10,407千円）

事業番号	3			
事業名	SAKU-AGRI 700（サクアグリ 700） ～農産物ブランド産地化計画～事業	担当課	農政課	
事業の内容	本市の晴天率の高さや標高の高さ（約700m）による寒暖差が大きいといった気候の優位性から品質の高い農産物を産出していますが、その価値や強みが十分に実証・可視化されておらず、ブランドとしての確立が課題となっています。 そこで、本市の恵まれた気候がもたらす佐久産農作物の価値を実証・確認し、プレミアムブランドとしての確立を図ります。あわせて、この冷涼な気候を生かした新たな農作物の栽培について検討するとともに、農業フェア等を通じたファンの獲得やブランド農産物のPRに取り組みます。 			
事業の効果	佐久産農作物のブランド化により単価向上と農家所得の向上を図るとともに、標高約700mの冷涼な気候を生かした新たな産地の形成や、フェア等を通じたPRにより関係人口やふるさと納税の拡大、移住者や若者等の就農促進につなげます。			
事業年度	令和９年度～令和11年度	総事業費	8,515千円	（うちR９～11年度） （8,515千円）

事業番号	4			
事業名	市有施設樹木調査事業	担当課	公園緑地課	
事業の内容	公園内に植樹された樹木の老齢化に加え、近年の気候変動に伴う大型台風の襲来や集中豪雨の頻繁化により、突発的な倒木事故が全国で社会問題となっています。 市民の方が利用する市有施設のうち、まずは、公園内における危険木の早期発見、対策を図るため、市内にある都市公園等の樹木を樹木医等による診断を行い、安心・安全に利用できる公園環境の確保に繋げます。 なお、今後、他の市有施設においても実施を検討します。 			
事業の効果	倒木のおそれがある樹木を調査に基づき特定し、倒木や落枝による事故が発生する前に伐採や剪定（せんてい）といった対策を講じることができます。また、優先度を一定程度明確にすることができ、限られた予算の中で効果的な樹木管理を行うことができます。			
事業年度	令和９年度～	総事業費	5,200千円～	（うちR９～11年度） （5,200千円（R9））

事業番号	5			
事業名	就学アセスメント専門職員配置事業	担当課	学校教育課	
事業の内容	市における特別支援学級および入級児童生徒は、毎年増加しており、全児童生徒数に占める特別支援学級に入級する児童生徒数の割合も、全国と比較して高い割合となっていて、課題となっています。 市では、発達検査のできる職員を一人配置していますが、特別支援学級に入級する児童生徒数の増加に伴い、発達検査や相談のニーズが増加しており、一人では対応しきれない状況にあります。 そこで、発達検査ができる資格を有し、かつ、アセスメント（見立て）が出来る職員を1名配置します。 			
事業の効果	一人ひとりの特性に沿った教育ニーズに応じ、早期に適切な学びの場で支援の充実を図ります。また、専門的な知見に基づく指導、助言により、学校現場の教員の負担軽減を図ります。			
事業年度	令和９年度～令和13年度	総事業費	15,515千円	（うちR９～11年度） （9,309千円）